

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年9月17日（火）
- 2 確認箇所
2号機原子炉建屋（図1）
※作業状況を遠隔操作室において確認
- 3 確認項目
テレスコピック式試験的取り出し装置によるデブリ取り出し作業の状況
- 4 確認結果の概要
2号機においてテレスコピック式試験的取り出し装置（以下「テレスコ装置」という。）による燃料デブリ^{※1}試験的取り出し作業が計画されている。
8月22日に燃料デブリ試験的取り出し作業が開始される予定であったが、押し込みパイプを接続する順番が計画していた順番と異なっていたため作業を一旦中断。9月9日、押し込みパイプを正しい順に並べ替える作業が完了し、9月10日から試験的取り出し作業が再開され、テレスコ装置先端部がPCV(原子炉格納容器)との隔離弁を通過した。（前回確認：[令和6年9月10日](#)）
その後、9月16日までにテレスコ装置の動作確認等を含めた準備が整い、本日(9月17日)から燃料デブリの採取作業を開始し、当該作業を確認した。しかし、テレスコ装置のアーム先端部カメラ及び先端治具監視カメラ双方の映像が映らなかったことから、本日本日予定していた燃料デブリの採取作業を中止、カメラ映像不具合に係る要因分析及び現在可能な範囲での原因調査が行なわれた。

<遠隔操作室での確認内容等>

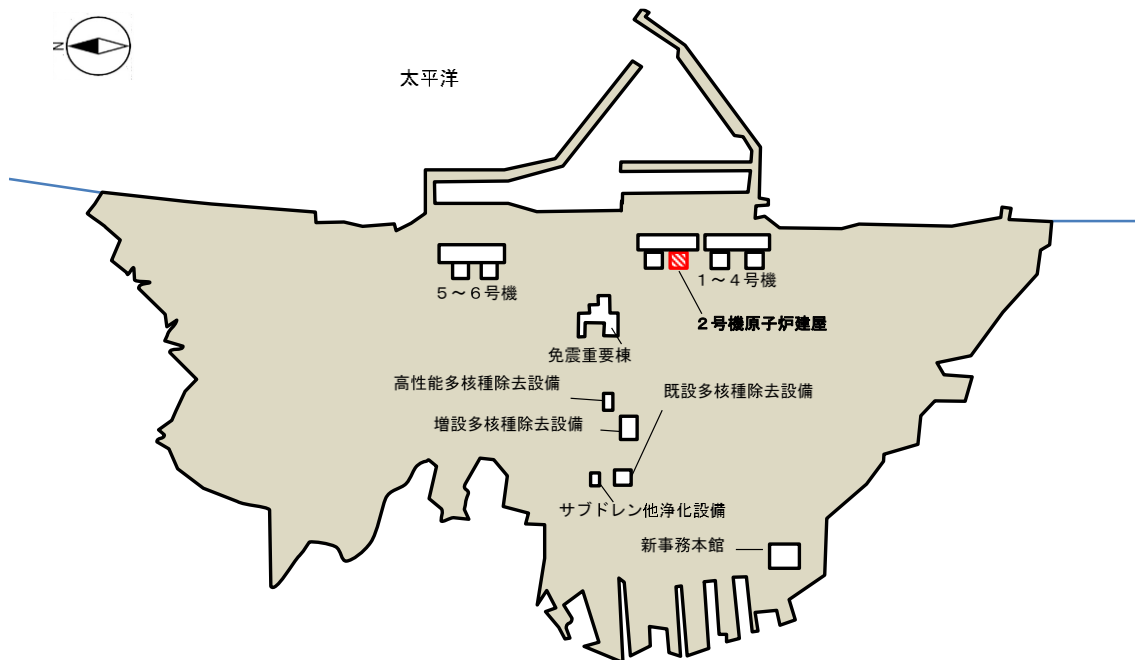
- 6時25分 作業開始するもアーム先端部カメラ及び先端治具監視カメラの映像が映らない事象発生。
- 7時30分 本事象の発生についての要因分析を行い、当日確認できる範囲内で原因調査を行うこととした。
- 8時13分 上記要因分析結果に基づく建屋内作業を開始。
CCU（カメラ・コントロール・ユニット）、コネクタ、カメラとケーブルとの接続状況、絶縁不良・地絡の有無確認を行い、ケーブル断線や接続不良、絶縁不良・地絡のないことを確認した。
- 9時16分 建屋内での現場作業を終了。

<今後の対応等>

これら現場での確認作業結果を踏まえ、今後の追加調査や原因究明、及び今後の対応スケジュールを東京電力と作業請負事業者とで協議することとした。

※1 燃料デブリ

燃料と被覆管等が溶融し、再固化したものの。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータに異常な値は確認されなかった。